

新しい時代の都市づくりには 新しい取り組みが必要です。

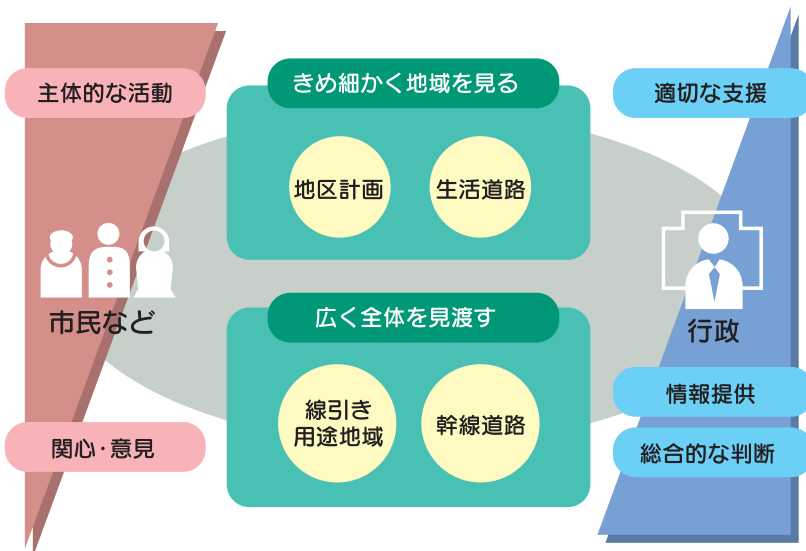
取り組みを支えるしくみ

キーワードは「協働」「共有」「透明性」です。

これからの都市づくりでは、既存の市街地や都市基盤施設を再生、活用しながら、きめ細かな取り組みを重ねていくことが重要になってきます。具体的な取り組みの場面ではそこで暮らしている市民や企業、行政など

都市の構成員が相互に役割と責任を担い合う新しいしくみが求められます。その場合大切なのは、まちづくりの各プロセスに応じた多様な協働と情報の共有化、そして分かりやすく透明な都市計画制度の運用です。

対象の広がりに応じた協働（イメージ）



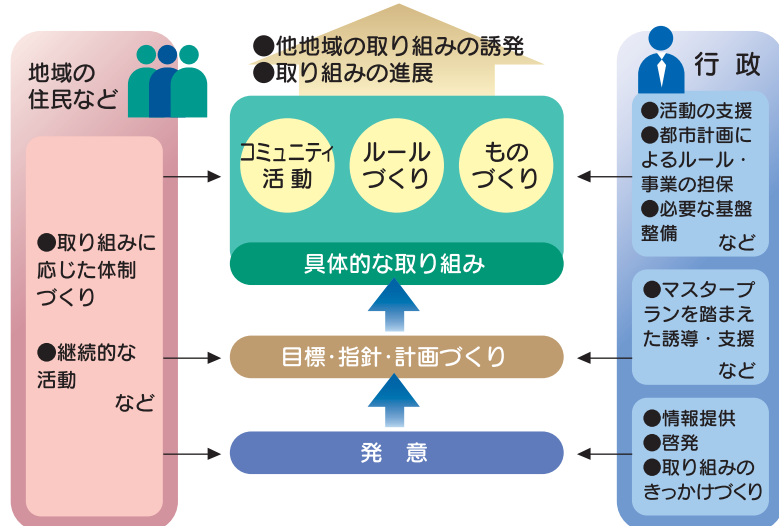
取り組みの各段階を通じた協働

企画・計画段階から実施、維持・管理、評価・見直しまで、各段階で協働の取り組みを進めます。また継続的に取り組みを進める体制をテーマに応じてつくります。

対象の広がりに応じた協働

用途地域や幹線道路など広域的な影響を持つテーマでは行政からの十分な情報提供と多様な立場の人々の幅広い意見交換のもとに取り組みを進めます。また、地区計画や住宅市街地内の生活道路など地域的なテーマではとくに地域住民の自主的なかがわりが重要です。行政は自主的活動への支援、全市的な観点からの調整を行います。

協働による地域の取り組みの推進（イメージ）



協働による地域の取り組みの推進

地域の住民などの主体的な取り組みを行政が支援し、地域ごとの都市づくりの指針を定めるなど、市民・企業・行政等の協働による地域の取り組みを推進します。その際、施設等の維持管理や建物更新の段階的誘導など、事後の継続的展開をも視野に入れた推進体制づくりを重視します。

行政の取り組みの総合化

個別の施策が相互に整合して展開され、総合的かつ一体的な都市づくりが推進されるよう、関係部局がこのマスタープランを共有し、個々の取り組みについてマスタープランとの整合を確保します。また、各種施策を効率的・効果的に推進するため、行政の関係部局間での連携・協力を一層強め、テーマに応じた推進体制のもとで総合的な取り組みを進めます。